

## 「春のゆうびん屋さん」の舞台となる森林について

おはなしの舞台は、夏緑樹林です。日本では鹿児島県から北海道、世界では北アメリカ東部、ヨーロッパ中央部、東アジア中北部の冷温帯に広く分布し、ブナ属、ナラ属、シデ属、カエデ属などの種で構成されています。

兵庫県立大学名誉教授  
服部保先生からのワンポイント

オオヤマザクラ：  
北海道、東北地方  
の夏緑樹林に生育  
するサクラの一種  
で高さは25mに達  
します。樹木の新  
葉が展開する前、4、  
5月にヤマザクラよ  
り濃く、かすかに  
香りのある花をつ  
けます。冬枯れの中  
に咲くオオヤマ  
ザクラは見事です。

登場する樹木、動物、植物などから、  
このおはなしの舞台は、東北地方  
(日本海側)と想定しました。

KOBELCO森の童話大賞HPの「おはなしを書く前に」で、森林についての詳しい情報を発信しています。ぜひご覧ください。HP [www.kobelco-mori-ohanashi.jp](http://www.kobelco-mori-ohanashi.jp)



## 「春のゆうびん屋さん」



### KOBELCO 森の童話大賞について

森はたくさんのいきものの命を育み、空気をきれいにし、水をたくわえ、私たちの暮らしに安全と豊かな恵みを与えてくれます。でも、一度森が元気を失ってしまうと、元通りにするには長い年月と、大変な努力が必要になります。

このような「森」を理解し、大切に育てる心を、次の世代を担う子どもたちに育んでもらうため、神戸製鋼グループは「森」をテーマにしたおはなしを募集し、絵本を作っています。

この絵本を読んで、一人でも多くの子どもたちが、森をはじめとする自然について考え、かけがえのないものであると気づき、そして、いつか、森を、自然を、元気することを何か一つでも実行していただければと思っています。

# 「春のゆうびんやさん」の世界

## ツキノワグマ

体長120~180cm。  
全身の毛衣は黒く、胸部に三日月や「V」字状の白い斑紋がある。

## カモシカ

ウシ科カモシカ属。  
生息地は、本州の東北地方から中部地方にかけて分布。



## コウモリ

空飛ぶ哺乳類。  
日本には約30種類のコウモリがいる。

## メジロ

全長12cmでスズメより小さい。目の周りに白い輪がある。



## ニホンリス

体長16~22cm。  
本州、四国、九州で生息。小枝や樹皮などを使って樹上の枝の間に丸い巣を作る。樹洞を利用する事もある。



## ヤマネ

体長6.8~8.4cm。  
背中正中線にそって暗褐色の縦縞が入る。

## ニホンノウサギ

東北地方や日本海側の積雪地帯、佐渡島の個体群は冬季に全身の毛衣が白くなり、相州ごろから徐々に赤褐色や、茶褐色の毛に生え変わる。

## ヒメモチ

日本海側の多雪地に生育する常緑広葉低木。冬に赤い果実をつける。

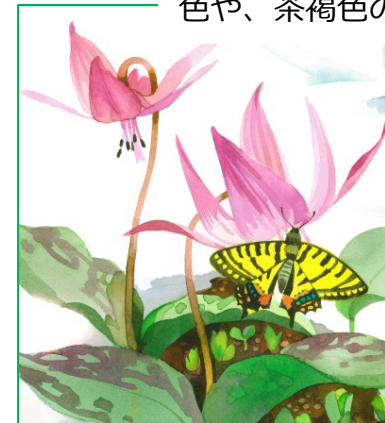


## フクジュソウ

日本固有種で、北海道、本州に生育し、早春に開花。

## カタクリ

北海道、本州、四国、九州の夏緑樹林帯に多く分布。



## ヒメギフチョウ

北海道から東北地方および朝鮮半島に分布。早春にのみ出現。